

授業科目名	紀州郷土学B (生物、文化の形成)		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	高須英樹、古賀庸憲、小山譽城、吉村旭輝、東悦子、鈴木裕範、揚妻直樹		
開講	南紀熊野サテライト (平成25年後期)	区分	学部開放科目
実施日・時間	10月5日(土) 13:00~17:00 担当:高須英樹		
	10月12日(土) 13:00~17:00 担当:古賀庸憲、揚妻直樹		
	10月26日(土) 13:00~17:00 担当:小山譽城		
	11月2日(土) 13:00~17:00 担当:吉村旭輝		
	11月16日(土) 13:00~17:00 担当:東悦子		
11月30日(土) 13:00~17:00 担当:鈴木裕範			
【講義内容】教養の森「わかやま」学群			
【授業のねらい・概要・科目の位置付け】 紀伊半島(和歌山県と三重県南部の紀州地域を主とする)を地質・地形や気候、生物、歴史、文化、自然環境、郷土の学習、保全保護から「郷土:紀伊半島」を考えます。「地域の独自性」を総合的に2年間で学べるカリキュラムです。本科目では地質・地形の上に生物や人間の営みがあって、現在の紀伊半島の多様性があることを学びます。学生をはじめ、地域づくりの活動をされている方、観光関係、地域ガイドの方にも受講していただきたい。			
【紀州郷土学B (生物、文化の形成)】 第1部:紀伊半島の地形地質からうまれた自然環境「植生と生息動物について」 第2部:紀伊半島の地理地形から生まれた歴史文化「民俗史、歴史・祭り文化・食文化・移民文化」			
【授業計画】 第1部:「紀伊半島の自然環境」 (紀伊半島の地形地質の特徴とそれを取りまく自然環境(植物・動物の特徴)) 第1回:10月5日(土)「紀伊半島の植物の特徴」高須英樹(教育学部) 第2回:10月12日(土)「紀伊半島の海辺の生き物」「紀伊半島のけものたち」 (海の生息動物)古賀庸憲(教育学部)(陸の生息動物)揚妻直樹(北海道大学和歌山研究林) 第2部:「紀伊半島の歴史と文化」(祭り・食文化・移民文化) ◆「紀伊半島の日本史」「紀伊半島の祭り」を知る(地理・地形から生まれた歴史・祭・民俗学) 第3回:10月26日(土)小山譽城(非常勤講師)「和歌山の歴史—熊野三山と高野山—」 第4回:11月2日(土)吉村旭輝(紀州研)「紀伊半島の「祭」分布と特徴」 ◆「紀伊半島の移民文化」「紀伊半島の食文化」を知る(地理・地形から生まれた移民文化・食文化) 第5回:11月16日(土)東悦子(観光学部)「海を渡った人々—和歌山の風土と移民—」 第6回:11月30日(土)鈴木裕範(経済学部)「食文化からみる紀伊半島」 ※ 記載の内容は変更することもあります。			
【テキスト・教材】適時資料を配布します。 【参考書】特に指定はありません。			
【到達目標】 紀伊半島の植生、動物、歴史、文化などを自らのことばで語ることができる。またそれらについて自らの興味に基づいて、自ら文献等を調べることができる。			
【事前学習】 紀伊半島の歴史、生活、自然などのニュースについて、関心をもちながら集めておくこと。地域でどんなことが話題になっているのかを整理しておいてください。			
【履修上の注意・メッセージ】 講義は一回完結です。生物や歴史・文化というまったく違うカテゴリーというのではなく、どうして紀伊半島の独自の文化につながったのか考えてください。特に、紀州郷土学Aの受講生は地質・地形と、生物、歴史・文化との関連性について考えてみてください。			